

## これからも楽しい環境イベントが もりだくさん！！

2月以降も「エコパークさがみはら」では、「環境」について楽しく学べるイベントがたくさんあってその一部をしょうかいするよ。  
くわしくは「広報さがみはら」や「ホームページ」を見て参加してね。

### おからケーキをつくろう

- 2/25(土) 10:00~12:00
- 3/19(日) 10:00~12:00



おからを使って、地球にも体にもやさしいケーキをつくります。楽しくて美味しいよ！

### ネイチャーゲームでSDGsを学ぼう

- 3/11(土) 9:30~12:00

ネイチャーゲームを通じて、SDGsを楽しく学べるよ。  
自然と人の関係の大切さを知ろう。



### 親子で楽しくつくる オリジナル鉛筆立て

- 3/21(火・祝) 10:00~12:00

木材のはしっこをいかした、自分だけのすてきな鉛筆立てをつくらう。材料となるいろいろな樹木の特色も知ることができるよ。



### 木もれびの森のワクワク体験。 親子で自然観察を学びましょう

- 3/25(土) 10:00~11:30

春の森で自然観察体験、親子での自然観察会を開きます。  
春のいぶきを見つけに行こう！



### 環境のちょこつと話

#### 「ヒノキ」について

相模原市の森林面積は約19000ヘクタールと相模原市の約60%もの面積を占めています。樹種別では広葉樹と針葉樹がそれぞれ約半数であり、針葉樹の約49%はスギとヒノキです。今回は高級木材として知られるヒノキを取り上げます。「日本書紀」に「スギとクスノキは舟に、ヒノキは宮殿に、マキは棺に使いなさい」と示唆されていたことはご存じでしたか。ヒノキの建材としての特長を上手く言い表しています。ヒノキは耐久性に大変優れています。強度は伐採して200年間は強くなり、その後1000年かけて徐々に弱くなり、伐採時と同等の強度に戻ると言われています。鉄やコンクリートは100年ほどでこれほどまでの耐久性はありません。日本では古来から重要な木造建築物にはヒノキ材が使用されており、飛鳥時代に建立された法隆寺が1300年以上経った今でも世界最古の木造建築としてその姿を維持していることも頷けますね。皆様も相模原の森林を訪ねながら、昔の人々の自然との関わり合いと知恵にあらためて思いを巡らせてみませんか。



### エコパークさがみはら

(相模原市立環境情報センター)

〒252-0236  
相模原市中央区富士見 1丁目3番41号  
TEL.042-769-9248 FAX.042-751-2036

- Eメール ecopark-sagamihara@mdlife.co.jp
- ホームページ <http://www.ecopark-sagamihara.com/>
- 開所時間 午前9時~午後5時
- 休所日 毎週木曜日、年末年始、施設点検日



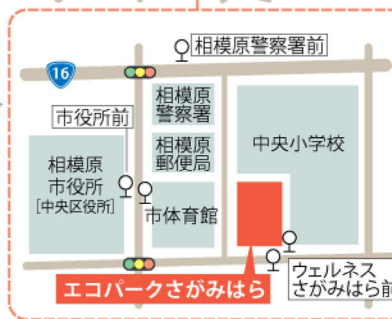
フォローしてね!



#### 交通

- JR相模原駅から  
① 徒歩約20分  
② バス「市役所前」下車徒歩2分  
「ウェルネスさがみはら前」下車すぐ
- JR上溝駅から  
① バス「市役所前」下車徒歩2分
- 車でお越しの方  
エコパークさがみはら及び周辺の市役所駐車場をご利用ください(2時間までの駐車は無料)

なるべく公共の交通機関をご利用ください。



未来へSwitch!  
ゼロカーボン  
さがみはら

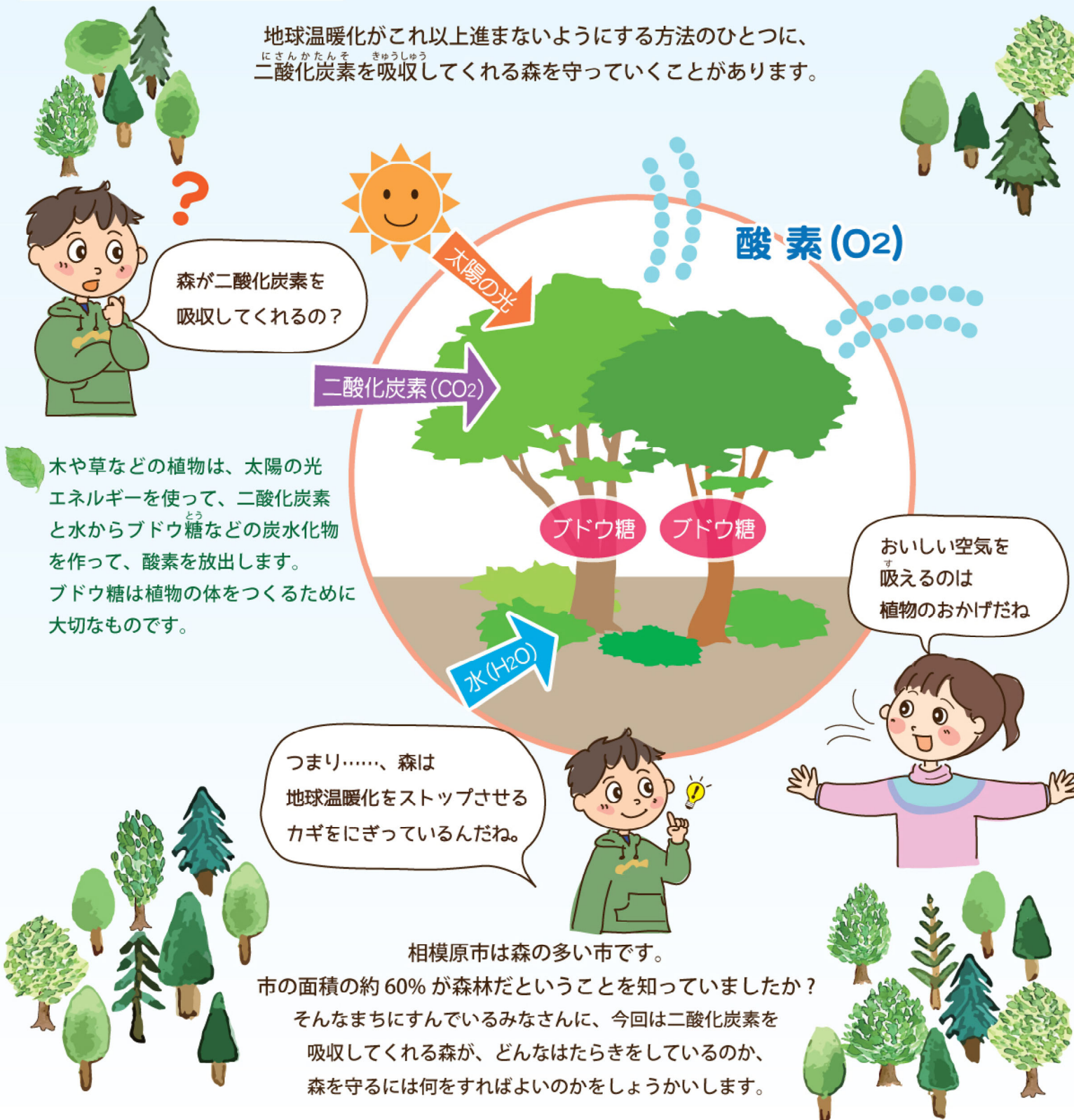
令和5年2月15日発行 発行：エコパークさがみはら 指定管理者 三菱電機ライフサービス株式会社

地球温暖化を防ぐために みんなで学ぼう

## 森のはたらきを知ろう



地球温暖化がこれ以上進まないようにする方法のひとつに、二酸化炭素を吸収してくれる森を守っていくことがあります。



# 森のさまざまなはたらき

## 生きものたちのすみかになる

森には、ほ乳類、鳥、こん虫など、たくさんの生きものがすんでいます



## 自然災害を防ぐ

木の根がしっかり地面に張っていることで雨や台風、がけくずれなどの自然災害からまちを守ってくれます。



## 雨水をゆっくり流す

森に降った雨は木の葉や幹をつたってゆっくり流れ、土にしみこんで、ゆっくりと下流に流れていき、洪水を防いでくれます。



ダンゴムシ

## 二酸化炭素を吸収し、酸素を放出する



## 木材を供給する

家や家具などの材料になります。



## 楽しみややすらぎをあたえる

ハイキングは楽しいね!



## 日かげをつかって気温を下げる

公園や街路樹などのまちなかのみどりは強い日差しからわたしたちを守ってくれます。

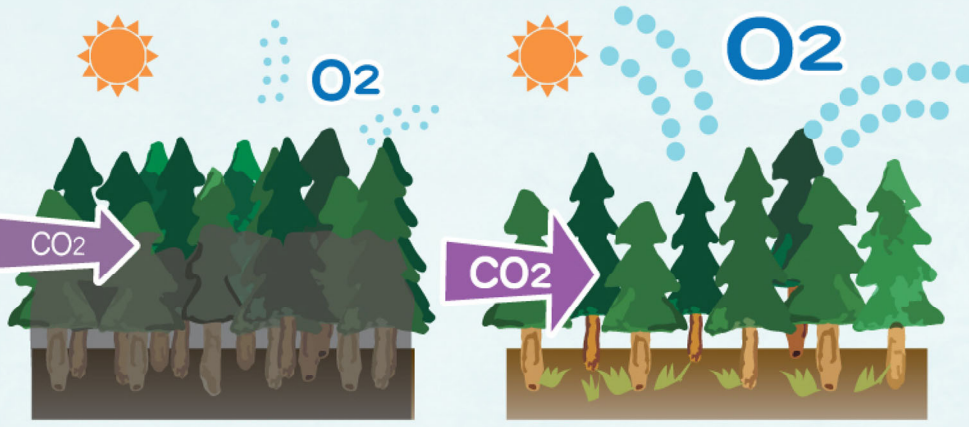


## 土じょうをつくる

地面に落ち葉がつもり、それをミミズやダンゴムシなどの土じょう動物が食べてそのフンが土になり、ふかふかの土ができていきます。

# 元気な森にするには

木と木の間をあけることを「間伐」といいます。間伐などの手入れをした森は大きな木が育ち、二酸化炭素の吸収量と酸素の放出量が増えます。地面に光が入って下草も生えます。間伐をしないと暗くて木も下草もよく育ちません。



手入れ(間伐)をしていない森

手入れ(間伐)をした森

森の手入れには間伐の他に木を植えたり、草をかいたり、まっすぐな木材になるように枝をきったりする作業があります。

## ！日本の森がピンチ！

市内の約半分が木材を生産するためにスギやヒノキを植えた人工林です。安い輸入木材が使われるようになって、日本の木材が売れなくなり、間伐などの手入れがされていない森が増えています。

国産の木材が売れないと、手入れをするお金もなくなるし、働きたい人もいなくなってしまうよ。



## 森のためにわたしたちができることは？

- 市内の木を使った製品を買う**  
 さがみはら津久井産材利用拡大協議会  
 さがみはら津久井産材製品が紹介されています。鉛筆、パズル、積み木などもあります。
- 市内の自然観察をする**  
 エコパークさがみはら  
 エコに関するさまざまな情報を提供しています。自然観察イベントも多数行っています。
- 森の自然を学び、観察をする**  
 かながわ森林インストラクターの会  
 森林を楽しむ自然観察会の参加者を募集しています。
- 流木アートを楽しんでみる**  
 神奈川県 流木・流木チップの無料配布について  
 市内では相模ダム(相模湖)、城山ダム(津久井湖)で平日に配布しています。
- 森の手入れをするボランティアに参加する**  
 公益財団法人かながわトラストみどり財団  
 神奈川県内の各地で行われる自然観察会や講習会、イベントの参加者を募集しています。



## さがみはら エコなかも

「木もれびの森の花と木々を守る会」  
愛しよう ここももの会

2022年4月に木もれびの森の保全活動を担う新たな団体が設立されました。名しょうは「木もれびの森の花と木々を守る会」(代表 杉山信義氏)で、愛しようは「ここももの会」です。

- ◆会の設立目的はなんですか？**  
 木もれびの森を舞台に持続可能な地球温暖化対策としての森づくりから、生物多様性の高い樹林源となるように適切な保全活動を行うことを目的としています。
- ◆どこで活動していますか？**  
 相模原市とパートナーシップ協定書を結んで活動地は大野台中学校正門近くの道路にはさまれた三角地帯の森(2.8ha)です。
- ◆どんな活動をしていますか？**  
 「森の楽しみ」と題した定例活動(月2回/第2・第4水曜/9:30~11:30)で、樹木の間伐や下草刈り等の保全活動です。5月から始めて2022年には15回開かれています。作業後の会員同士の会話も楽しみです。そのほかに動植物の実態調査、市民を対象とした森の散策等の体験講座の開催、相模原市等の各種団体のイベントにも参加して自然保護ふきゅう活動に積極的に取り組んでいます。くわしくはホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



◆何名が参加していますか？ 募集はしていますか？  
 現在は20名です。参加者を募集しています。手作業での森の保全活動に参加しませんか。無理



はせず、森を嬉しむ姿勢でまいりましょう。お気軽にお問い合わせください。



エコパークさがみはらの図書コーナーにあります。



初版は1984年発行で第49刷と重ねて、2012年に新装版に改訂、その後は2022年に新装版第13刷と超ロングセラー。小学生向けに森林のはたらきを知るための入門版として最適です。

「森は生きています」(新装版)  
 富山和子著 大庭賢哉絵 講談社刊